

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	スルファメトキサゾール・トリメトプリム配合剤による皮疹発現患者に対する減感作療法が有用であった2症例
所属科*	薬剤部
研究責任者*	安原 涼子
研究実施期間	開始 西暦 2023年 8月 1日 終了 西暦 2024年 4月 30日
対象疾患（予定症例数）	(2症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2023年 9月 19日 ~ 至 西暦 2024年 4月 30日
研究概要*	スルファメトキサゾール・トリメトプリム配合剤（以下、ST合剤）はステロイド投与患者や免疫抑制剤投与患者でのニューモシスチス肺炎（PCP）予防に効果的であり、これらの薬剤と併用されることが多い。一方で、インタビューフォームによると、ST合剤による皮疹は、臨床試験データでは1.72%、市販後調査では1.05%と報告されている。ST合剤が使用不可であり場合、疾患治療中にPCP発症リスクが上昇し治療上不利を生じる可能性がある。これに対しST合剤の減感作療法を行うことで8割以上が内服継続可能となることが報告されている。そこで今回、2023年8月から2024年4月の期間に当院腎臓内科で、ST合剤による皮疹が発現した患者に対し減感作療法が行われた2症例について調査した。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。（青文字は記入後消去してください）
研究の問い合わせ先*	4304

* 記入必須項目